

意見書案第 4 号

彦根愛知犬上地域新ごみ処理施設建設候補地の見直しを求める意見書案

上記の意見書案を提出する。

平成 30 年(2018 年)6 月 21 日

提出者	安	澤	勝
賛成者	北	川	元 気
賛成者	和	田	一 繁
賛成者	上	杉	正 敏
賛成者	山	内	善 男

彦根愛知犬上地域新ごみ処理施設建設候補地の見直しを求める意見書

彦根愛知犬上地域新ごみ処理施設の建設候補地は、彦根市長である大久保市長が、彦根愛知犬上広域行政組合管理者として、平成 29 年 6 月 30 日に愛荘町竹原と公表された。

その後、岩倉地区、松尾寺地区では早々に反対看板が設置され、現在では周辺 6 つの自治区より反対表明がなされた。今年 5 月に開催された秦荘東小学校区住民説明会の会場においても管理者は「地元の皆様にはご理解をいただきたい。まずは竹原が建設予定地になり得るか調査をさせていただきたい。」の一点張りで、周辺住民の納得いく説明は無く、景観や自然環境破壊、交通問題など多くの問題を指摘する意見や、農業への悪影響など不安が広がっている。また、彦根愛知犬上広域行政組合議会において多くの議員が質問しているが、管理者は同様の対応であり、未だ竹原に決定した経過には多くの疑問が存在する。それ故に彦根市民からも決定経過の不透明さや利便性の悪化、運搬経費が大幅に増大することや新たに発見された活断層への懸念など、様々な理由により愛荘町竹原区決定を疑問視されている。さらには圏域全体の約 7 割のごみを当市が占めていることから、従来どおり市内にごみ処理施設を置くことは当然との見方もある。

こうしたことから、彦根愛知犬上地域新ごみ処理施設の建設候補地を、愛荘町竹原地区とするものの決定を一旦白紙撤回することや、「広域化計画」の是非も含め、真に彦根市民にとって利益になるように検討することを求め、地方自治法第 99 条の規定により意見書を提出する。

平成 30 年 6 月 21 日

彦 根 市 議 会

彦根愛知犬上広域行政組合管理者 殿